



TACHIBANA ELETECH

自動車向け電子部品に参入

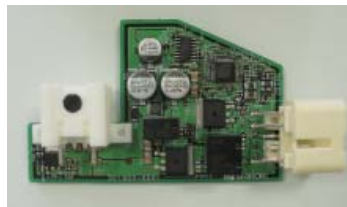
日産新型フーガ、シーマ向けに「トランクオートクローザー」を納入開始、シロキ工業と

電機・電子機器卸売業の株式会社立花エレテック（東証・大証一部上場、本社・大阪市西区、渡邊武雄社長）は、自動車部品メーカーのシロキ工業株式会社（東証・名証一部上場、本社・愛知県豊川市、松井 拓夫社長）と共同で、乗用車のトランクの電子制御装置（エレクトロニック・コントロール・ユニット、ECU）を開発し、6月13日に発売された日産自動車の新型「フーガ」と5月21日に発売された新型「シーマ」に納入を始めました。

2社の共同開発による初の量産部品です。

【採用部品の概要】

部品名	トランクオートクローザー
機能	トランクリッドを軽く押すだけで静かに閉じる
採用車種	日産フーガ（2012年6月13日発売） 日産シーマ（2012年5月21日発売）



※トランクオートクローザー実物



※フーガのトランク部分イメージ

【共同開発の経緯】

当社とシロキ工業は、2003年夏より、「シロキ・タチバナ・ECU・プロジェクト」(STEP)をスタートし、車の電子制御装置の共同開発を行ってきました。

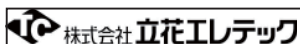
家電製品のリモコンなどの設計・生産受託を行ってきた立花エレテックはEMS（エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス、電子機器受託生産）事業の分野拡大を目指していました。自動車シートのリクライナーなど機械部品を手がけてきたシロキ工業は電子制御装置に参入すべく活動を開始していました。両社の思いが一致したことからはじまったプロジェクトでした。

STEPとしてこれまでにパワーウィンドウ部品などの試作や提案を行ったことが実を結び、今回実車に採用されました。

【今後の展開】

車の電子制御装置は、パワーウィンドウやドアクローザーなど、さまざまな部分に拡大しています。立花エレテックとシロキ工業とのプロジェクトで、今後、多様な自動車用ECUの共同開発を行い、受注を目指していきます。

本件に関するお問合せ先



〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25

STプロジェクト部 藤村良裕 (06-6539-5023 090-4309-4139 fujimurab@tachibana.co.jp)

広報・株式課 井上純子 (06-6539-2718 080-2449-8094 inoueg@tachibana.co.jp)